

ea21 環境活動レポート

エコアクション21 ガイドライン 2009年版

目 次		
1	組織の概要	2
2	対象範囲	4
3	環境方針	5
4	環境目標	6
5	環境活動実績	7
6	環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	9
7	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
8	代表者による全体評価と見直しの結果	11

対象期間 平成28年4月～平成29年3月

発行日 平成29年6月1日

改訂日



計測システム株式会社

1. ≪組織の概要≫（事業所名、所在地、事業の概要、事業規模等）

1-1 社名及び代表者名

計測システム株式会社
代表取締役 末芳 孝夫

1-2 事業所名・所在地

本 社 計測システム株式会社
〒670-0972 兵庫県姫路市手柄47-5
tel:079-296-2067 fax:079-293-1690

岡山営業所
〒710-1101 岡山県倉敷市茶屋町1595-4
tel:086-420-2030 fax:086-420-2034

1-3 会社設立年月日

平成 3年 3月 1日

1-4 資本金

金1029万3500円

1-5 環境保全関連の連絡先

統括責任者 末芳 孝夫
環境管理責任者 菊本 豊一
環境事務局 横畑 光男
tel: 079-296-2067
fax: 079-293-1690
E-mail: mail@ksk-h.co.jp
URL: <http://www.ksk-h.co.jp>

1-6 事業内容

当社は、「環境計測機器の保守及び修理」について、それぞれの部門で専門技術を習得したサービスエンジニアリングチームが、地道なフィールドワークに徹した活動を展開しており、総合的に信頼性の高いサービスを提供し社会に貢献しています。

1-7 許可の内容

① 産業廃棄物収集運搬業許可（収集・運搬「積替・保管施設を除く」）

許可番号		産業廃棄物の種類	許可年月日	有効期限
兵庫県	02804045372	廃酸 1種類	H24.3.27	H29.3.26
岡山県	3353045372	廃酸、廃アルカリ 2種類	H26.3.17	H31.3.16

② 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（収集・運搬「積替・保管施設を除く」）

許可番号		特別管理産業廃棄物の種類	許可年月日	有効期限
兵庫県	02804045372	廃酸 1種類	H24.3.27	H29.3.26
岡山県	3353045372	廃酸、廃アルカリ 2種類	H26.3.17	H31.3.16

※ 産業廃棄物処理は行っておりません。

収集運搬料金は物量より計算を致します。まずは、当社までお問い合わせ下さい。

1-8 施設の状況

収集運搬車両	:	バン	400kg	6台
--------	---	----	-------	----

1-9 産業廃棄物の収集運搬量（平成28年4月～平成29年3月まで）

廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ
産業廃棄物収集運搬量	3,004kg	-
特別産業廃棄物収集運搬量	0kg	-

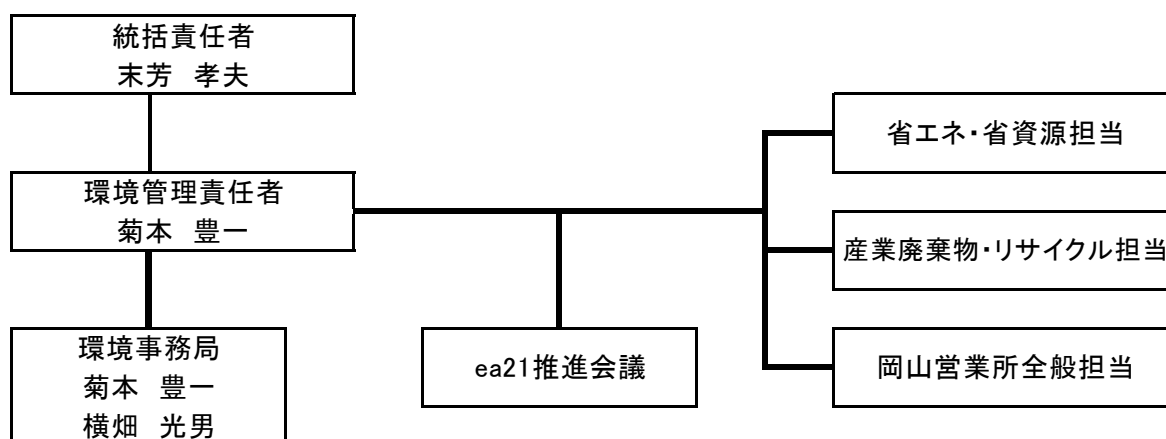
1-10 事業所の規模・実施体制

活動規模	単位	H26年度	H27年度	H28年度
売上高	百万円	135	142	147

「平成28年度」

実施体制	本 社	岡山営業所
事務所面積（㎡）	66.0	43.3
従業員数（人）	4	2

環境経営システム組織図



2. ≪対象範囲≫（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

2-1 認証・登録の対象組織の概要

①認証・登録事業者名	計測システム株式会社
②現在の認証・登録事業所数	本社、岡山営業所 2箇所
③認証・登録の範囲	環境計測機器の保守、修理

2-2 レポートの対象期間及び発行日

対象期間 : 平成28年4月1日～平成29年3月31日
 発行日 : 平成29年6月1日
 ea21活動年度 : 4月から翌年3月

3. ≪環境方針≫

環境方針

計測システム株式会社は、環境計測機器の保守事業を主に、事業のあらゆる面が地球環境と深く関わっている事を認識し、環境負荷低減に配慮した環境保全活動に自主的、積極的に取り組み、この環境方針を全従業員へ周知します。

行動指針

- 1) 環境関連法規やその他要求事項を順守します。
- 2) 環境目標を定め定期的に見直しを行い継続的改善に努めます。
- 3) 地球温暖化防止の為省エネルギーを推進します。(二酸化炭素排出量削減)
- 4) 事業活動における廃棄物の削減と適切な分別回収を行い再資源化に努めます。
- 5) 水使用量削減・化学物質の適正管理、グリーン購入を実施します。
- 6) 当社事業における環境配慮としてエコ運転を推進します。
- 7) フロン排出抑制対策に積極的に取り組みます。

制 定 日	平成 22年 9月	1日
改 定 日	平成 27年10月	1日

計測システム株式会社

代表取締役 末 芳 孝 夫

4. ≪環境目標≫

環境目標項目		基準年度/基準値	目標期間/目標値		
		平成23年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1	二酸化炭素排出量の削減	27,927 kg-CO ₂	基準値の5%減	基準値の6%減	基準値の6%減
			26,530 kg-CO ₂	26,252 kg-CO ₂	26,252 kg-CO ₂
2	電力使用量の削減	7,999 kWh	基準値の5%減	基準値の6%減	基準値の6%減
			7,599 kWh	7,519 kWh	7,519 kWh
		3,936 kg-CO ₂	3,739 kg-CO ₂	3,700 kg-CO ₂	3,700 kg-CO ₂
3	ガソリン使用量の削減	10,324 L	基準値の5%減	基準値の6%減	基準値の6%減
			9,808 L	9,705 L	9,705 L
		23,991 kg-CO ₂	22,791 kg-CO ₂	22,552 kg-CO ₂	22,552 kg-CO ₂
4	一般廃棄物排出量の削減 (廃プラ、ガラス、乾電池等)	991 kg	基準値の5%減	基準値の6%減	基準値の6%減
			941 kg	932 kg	932 kg
5	リサイクル率の向上 (段ボール、プラ、金属等)	28.9%	基準値の5%増	基準値の6%増	基準値の6%増
			33.9%	34.9%	34.9%
6	グリーン購入率の向上	21.4%	基準値の5%増	基準値の6%増	基準値の6%増
			26.4%	27.4%	27.4%
7	化学物質の適正管理	100%	100%	100%	100%
8	エコ運転(燃費)の推進	14.0 km/L	基準値の2.5km/L増	基準値の3km/L増	基準値の3km/L増
			16.5 km/L	17.0 km/L	17.0 km/L
9	フロン排出抑制対策	100%	100%	100%	100%

(項目2) 電力の二酸化炭素排出係数は以下を使用しました。

平成27年度実績値：(関西電力)0.509kg-CO₂/kWh／(中国電力)0.697kg-CO₂/kWh

(項目4) 古紙・段ボール等のリサイクル可能な排出量は除きます。

(項目7) 環境活動計画の項目を満たしている事を基準としています。

(項目9) 環境活動計画の項目を満たしている事を基準としています。

※ 水使用量については、以下の理由より目標設定しておりませんが、節水の取組自体は継続しています。

1. 本社においては、賃貸物件の為に月毎の使用量を把握出来ない為。

2. 岡山事務所においては、年間使用量が少ない為。

5. <<環境活動実績>>

5-1 平成28年度環境目標の実績

環境目標項目	平成23年度 基準年度/基準値	平成28年度			
		目標値	実績値	達成率(※2)	評価
二酸化炭素排出量の削減	27,927 kg-CO ₂	基準値の5%減 26,530 kg-CO ₂	21,574 kg-CO ₂	123.0%	○
電力使用量の削減	7,999 kWh	基準値の5%減 7,599 kWh	5,970 kWh	127.3%	○
	3,936 kg-CO ₂	3,739 kg-CO ₂	3,380 kg-CO ₂		
ガソリン使用量の削減	10,324 L	基準値の5%減 9,808 L	7,837 L	125.1%	○
	23,991 kg-CO ₂	22,791 kg-CO ₂	18,194 kg-CO ₂		
一般廃棄物排出量の削減 (廃プラ、ガラス、乾電池等)	991 kg	基準値の5%減 941 kg	773 kg	121.7%	○
リサイクル率の向上 (段ボール、プラスチック、金属等)	28.9%	基準値の5%増 33.9%	39.8%	117.4%	○
グリーン購入率の向上	21.4%	基準値の5%増 26.4%	67.2%	254.5%	○
化学物質の適正管理	100%	100%	100%	—	○
エコ運転(燃費)の推進	14.0 km/L	基準値の2.5km/L増 16.5 km/L	16.2 km/L	98.2%	△
フロン排出抑制対策(※1)	100%	100%	100%	—	○

(※1) 平成27年11月から実施しています。

(※2) 達成率(%) = (目標値/実績値) × 100 (減少目標の場合)
= (実績値/目標値) × 100 (増加目標の場合)

尚、評価基準は以下の通りとする。

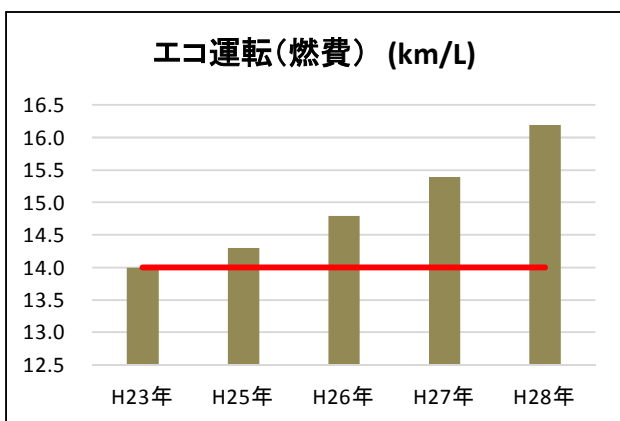
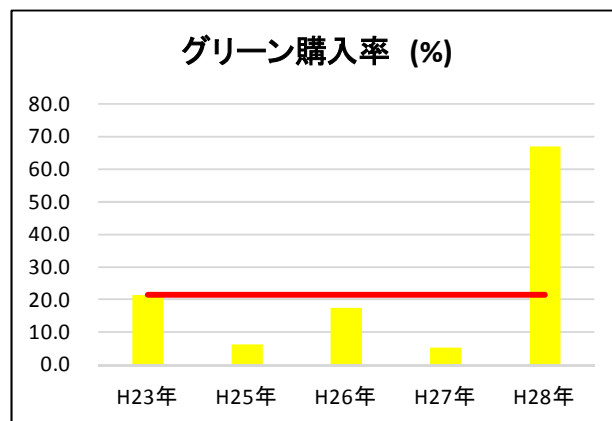
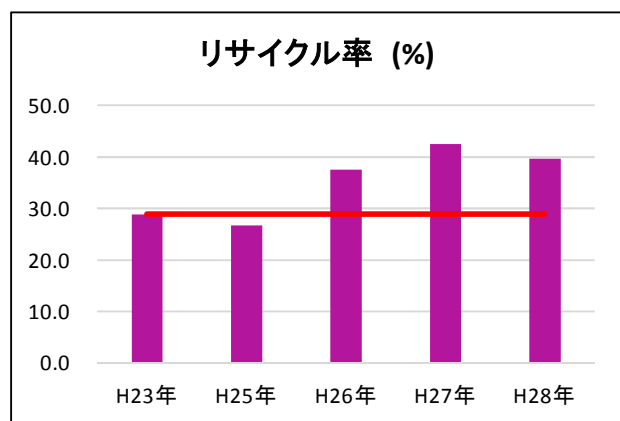
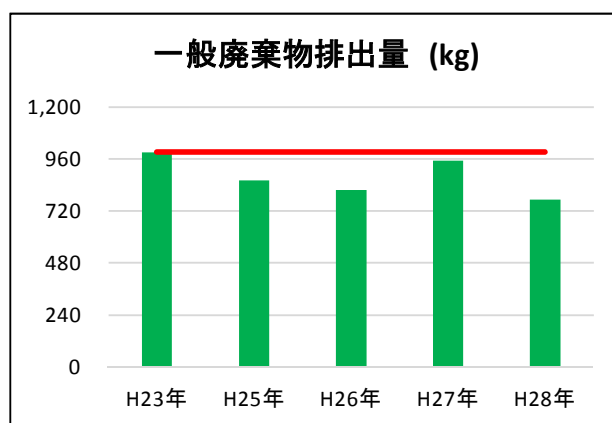
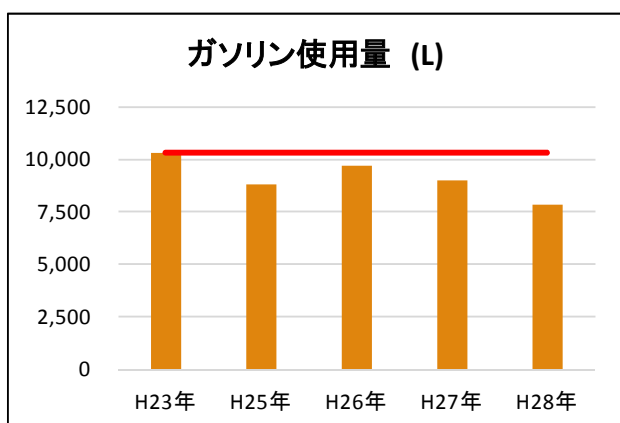
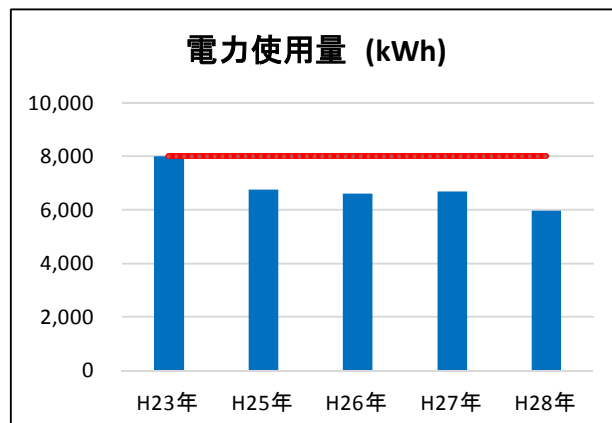
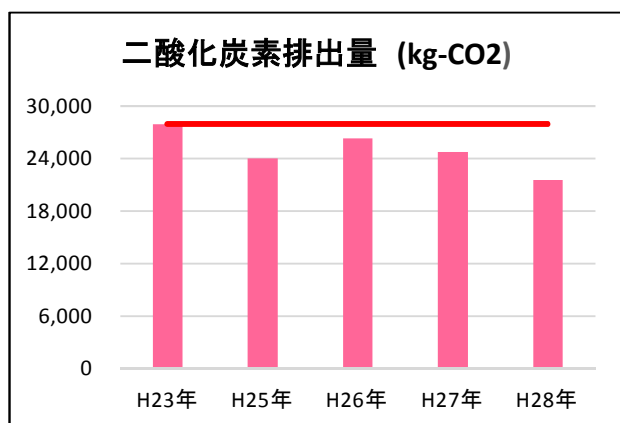
○: 達成率 ≥ 100%

△: 100% > 達成率 ≥ 95%

×: 目標達成率 < 95%

5-2 実績推移グラフ

※各グラフにおいて、赤線は基準年度(H23)の基準値です。



6. ≪環境活動計画の取組項目と状況及び補足、次年度の取組内容≫

1) CO₂ 排出量の削減

a) 電力使用量の削減

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①事務所の照明は使用電力の少ない機種に順次切り替える。	◎
②室内空調温度設定は、夏28℃±1℃、冬は20℃±1℃とする。	◎
③昼休み、残業時等での不要な照明は消灯する。	○
④夏は昼光を極力遮断し、冷房効率を高める。(グリーンカーテン等)	○
⑤冬は、積極的に昼光を取り入れ暖房効率を高める。	○
⑥省エネタイプのOA機器の導入に努める。	○
⑦定時退社を心がける。	△
補足	
サキュレターを設置し、冷房時に使用しています。	
次年度の取組内容	
全事業所で室内空調温度設定(夏は28℃±1℃、冬は20℃±1℃)や昼休みの不要照明の消灯、電気の消し忘れなど再確認して意識強化をしていきます。	

b) ガソリン使用量の削減

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①運転計画を作り、効率的な車輛の運用を推進。	△
②エコドライブ配慮し、無駄なアイドリングやアクセルむらのない運転励行。	○
③電車・バス等の公共交通機関を極力利用する。	○
④買替え車輛を低公害車、低燃費車に切替えて行く。	○
次年度の取組内容	
ガソリン使用量を掲示することで、意識向上に努めます。	
二酸化炭素排出量においてガソリン使用量が大きく影響しているので、更に取組みます。	

2) 一般廃棄物排出量の削減・リサイクル率の向上

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①紙類の分別回収による再資源化。	◎
②ダンボール等梱包資材の再利用の推進。	◎
③両面印刷、両面コピー、使用済用紙の裏面紙使用で紙使用量を抑制。	○
④リユース又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する。	○
⑤詰替可能な製品の利用、備品の修理等により、製品等を長期使用する。	△
⑥分別回収場所を取り決め、分別の徹底をする。	◎
補足	
古紙・段ボールはリサイクル回収を行っております。	
次年度の取組内容	
廃棄物排出量を掲示することで、意識向上に努めます。	
全体の廃棄物排出量削減に努力すると共に、リサイクル率の向上にも取り組んでいきます。	

3) グリーン購入率の向上

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①購入品目や購入先など調査し、対象品目を定める。	△
②手順書に基づき購入量の実態を把握し、グリーン比率等を定める。	△
補足	
グリーン購入ネットワーク登録製品の優先購入に努めています。	
次年度の取組内容	
購入量が少ない為、数値目標より行動目標による評価方法を検討します。	

4) 化学物質の適正管理

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①手順書に基づき化学物質量の入出状況を把握。	◎
②化学物質保管状態の適正管理。	◎
③産業廃棄物収集運搬業で使用する収集容器の管理。	◎
補足	
事業で使用する薬品の状況は、定めた手順書にて安全に管理しています。	
次年度の取組内容	
法令の遵守を全員で意識し、状態を維持したいと思います。	

5) エコ運転(燃費)の推進

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①手順書に基づくガソリン使用燃費の実態把握。	◎
②「エコドライブ10のすすめ」(エコドライブ普及連絡会制定)の活用検討。	○
補足	
月間結果(燃費)の回覧等より燃費に対し意識向上が見られます。	
次年度の取組内容	
エコドライブ10等、外部の意見や知識を取り入れたく計画しております。	

6) フロン排出抑制対策の推進

◎: 良く出来た ○: まずまず出来た △: 余り出来なかった ×: 全く出来なかった

取組項目	状況
①手順書に基づくフロンガス漏洩の点検。	○
②使用製品の実態(使用フロン)調査。	○
補足	
3カ月毎の簡易点検より漏洩防に対し意識向上が見られます。	
次年度の取組内容	
外部の意見や知識を取り入れたく計画しております。	

7. ≪環境法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反の有無≫

平成29年3月にチェックを行なった結果、違反は有りませんでした。

環境関連法規について利害関係者等からの訴訟や苦情等は過去3年間ありません。

法令・条例・規制	遵守事項	確認方法	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	許可期限、許可内容の遵守	許可証確認	遵守
	マニフェストの管理	保管場所設定	遵守
	収集運搬業者及び処分業者との委託契約	処分状況確認	遵守
	委託契約書の保管:5年間保存	保存状況確認	遵守
下水道法	現場排水の適正処理	標準作業遵守	遵守
	一般的な注意義務	節水等表記	遵守
消防法	消防用設備等の点検報告	報告書確認	遵守
	防火訓練実施	実施記録確認	遵守
毒物・劇物取締法	毒物・劇物の表示	毒物・劇物表示	遵守
	毒物・劇物の盗難、紛失、漏洩の禁止	入出管理票確認	遵守
高圧ガス保安法	使用済みボンベの返却	返却状況確認	遵守
道路運送車両法	点検、整備の義務	車両日紙確認	遵守
	点検整備の記録	配車状況確認	遵守
道路交通法	交通ルールの遵守	事故報告有無確認	遵守
計量法	計量器の維持管理	報告書確認・管理	遵守
	修理実績報告の提出		遵守
	トレーサビリティによる計測器管理	証明書確認	遵守

8. ≪代表者による全体評価と見直しの結果≫

平成29年5月30日、代表者による見直しを行ないました。

- 8-1 環境方針について、平成29年度も昨年度と同じ方針で実施し変更はありません。
- 8-2 環境システムの各要素について、朝礼や終礼等を活用し 各担当が問題の発表を行い適正な運用が行なわれるように配慮致します。
- 8-3 これら取組の結果、全従業員一人ひとりが環境活動へ積極的参加する意識を高め、環境改善への取組が充実してまいりましたが、実績把握し目標設定が困難な項目もあり、平成28年度の実績を良く検討して次年度につながる活動計画を作成します。
- 8-4 グリーン購入率は、売上内容により変動すると考えられます。
この為、この項目について評価基準の見直しを検討します。